

# 第5回宇治市スポーツ推進審議会

## 議事要旨

宇治市

## 第5回宇治市スポーツ推進審議会 議事要旨

〈開催年月日〉

令和4年2月4日（金） 9時30分～

〈開催場所〉

宇治市水道庁舎3階 大会議室 （一部オンラインによる実施）

〈出席者〉

➤ 委員

長積 仁（会長）	立命館大学 スポーツ健康科学部 教授
佐野 恵理子（会長職務代理）	（一財）宇治市スポーツ協会 理事
小川 雅洋	（株）京都パープルサンガ 経営企画室 室長
小西 美加	京都文教大学 女子野球部総監督
佐藤 朋子	宇治市スポーツ少年団 本部委員
多田 重光	（公社）宇治市観光協会 専務理事兼事務局長
西山 正一	宇治市体育振興会連合会 副会長
長谷川 理生也	宇治商工会議所 専務理事
森 美奈子	摂南大学 農学部食品栄養学科 講師

計9名

➤ 事務局

脇坂 英昭	産業地域振興部 部長
荻野 浩造	産業地域振興部 副部長
久泉 昭人	産業地域振興部 文化スポーツ課 課長
萬谷 智	産業地域振興部 文化スポーツ課 スポーツ係 係長

計4名

〈会議内容〉

1. 開会

- 会議録の公開についての説明
- 欠席委員の報告
- 事務局職員紹介

2. 会長あいさつ

3. 議事

- パブリックコメント結果及び計画最終案について

（会長）

この計画で使っている「スポーツ」という言葉がどういう意味付けなのかということの追加をしている。市民がより豊かな生活や人生を歩むための1つのエッセンスとして、スポーツが人々に浸透すれば良いと思う。宇治市のまちづくりや宇治市民の豊かな生活に、どれぐらいスポーツが浸透し、スポーツという言葉に親しみを持ってもらえるかということで冒頭に文章を加えている。

## 第5回宇治市スポーツ推進審議会 議事要旨

もう1つは、この計画をどう進行管理をしていくかという点で、本来きちんと記載すべきことであったが、このスポーツ推進審議会で、計画に対する進捗状況をしっかりと管理をしていきたいということを追記している。

それ以外の点についてどんな観点でも構わないので、皆さんがお気づきになった点があれば、それを反映して市長に答申に行きたいと思っている。次の見直しは4年後になる。基本的には、よほどの齟齬がない限りは、文言の修正は容易ではないと思うので、方向性も含めて、気になるところがあればご意見をいただきたい。

### (委員)

プロスポーツとして、京都フローラは外れてしまったので、サッカー、バスケの2つにしてもらえればと思う。私たちがしないといけないのは、そこから、“これに注力します”ということ、“全部を頑張ります”ではなく、“まずこれを形にします”ということが示せると、もっと良いと感じている。

例えば、eスポーツであれば、幅が広く、体を動かすというところからは外れるので、eスポーツは違う部分でやりますとか、宇治市としてはこれにもっと注力しますというようなこと。何か具体化するところまで示せるともっと良いのではないかと感じた。

### (会長)

本当は重点施策あるいは重点戦略みたいなものを書いて、優先順位に触れられればと思うが、とにかく方向性だけは示した上で、その後は、書かれている施策に基づいて、予算等に配慮しながら取捨選択、優先順位を決めていかざるを得ない。本来ならば何かアクションを起こすための方向性が網羅できていないといけないと思う。この後、予算をどう付けて、どれを順番に実施していくかということは、行政にお願いするしかない。進捗管理の審議会で、こういうところから実施していくべきということも、今後議論できればと思う。

また、評価指標のところはなかなか難しい。これも審議会で今後、適切な内容を話し合っていけば良いと思っている。進捗管理をしていく中で再提案して修正を加えたり、我々が描こうとしている宇治市のスポーツやまちの将来を、どう判断していくべきなのか、計画の中で今後、修正を加えていければ良いと思う。

計画の中身を変えることは難しいと思うが、掲げている目標や評価については随時、修正をしたり、見直したり、議論する余地は十分あるとおっしゃって良いか。

### (事務局)

目標値も含めて置かせていただき、この4年間については、これを目標に色々な事業を進めていく。進行管理においては、色々なご意見を踏まえながら進めていきたいと考えている。

また、予定としては、4年後を目途に、計画の目標値や事業について見直しを図っていききたいと考えている。

### (会長)

指標を無くすことはないと思うが、もっと色々な発想があると思う。これも十分議論すれば良

## 第5回宇治市スポーツ推進審議会 議事要旨

かったが、必要なものは、今後ぜひ議論ができれば良いと思う。

(委員)

4年後に次の見直しがあるということで、例えば、4年前を遡ってみると、Instagram等のようなSNSも含めた情報発信ツールはあまりなかった。20～30代の方は、常に情報をInstagram等からとられている。宇治市でこういう大会があるとか、宇治市公式Instagram等での情報発信ができないかと思う。そういうものがあれば、最終的に、計画の中のスポーツで“ひろがる”とか“つながる”という部分になるのではないかと思う。そういう取り組みを宇治市として実施可能かどうか教えてもらいたい。

(事務局)

市の事業について、市政だより等の紙ベースで広報する場合と、SNSやLINE等を使った場合とでは、やはり反応が全然違う。これからも新しい情報媒体のツールも出てくると思うので、積極的に取り入れて、「宇治市公式」ということも含めて、検討していきたいと思う。

(会長)

16ページに市民が求める情報を分かりやすく知らせることが記載されているので、どう仕掛けるか。我々自身の持っているコンテンツが広がらないと意味がないと思うので、その部分は十分に反映して、事業化や施策化いただきたいと思う。

(委員)

Instagramであれば、フォロワー数等がチェックできるので、4年後に、フォロワー数を評価の1つのコンテンツとして見直しもかけられるかと思う。

(事務局)

「宇治市文化芸術活動おうえんチャンネル」等、専門のチャンネルを作って動画配信をする事業もしている。評価指標に使えるという意見は、確かにそうだと思うので、今後検討したいと思う。

(会長)

認知されない限り、次のアクションは起こらない。何か認知を測るような指標があっても良いと思う。

(委員)

平成27年の計画策定にも携わっていた。計画の推進において評価をしていくとあったが、平成27年に決めた計画の実行はどうだったのかを見ると、目標のうち、達成している項目としていない項目が見られる。今後、4年後に見直しがあると思うが、チェックはどのようにされていくのか教えてほしい。

## 第5回宇治市スポーツ推進審議会 議事要旨

### (事務局)

次年度以降、審議会で進行管理やチェックをしていくが、市の事業についての概要の報告など、4年に1度にはなると思うが、数値が出せるものについては数値を出して、市の施策の方向性や個別事業についてのアドバイスをいただけたらと思う。

### (委員)

計画にも表記されているが、行政全体として、他部門とも協力して総合的に推進していくことになっている。特に、健康福祉分野の担当課は、スポーツやレクリエーションに関わることについて目指しているところもあるので、コラボレーションをして、市民の健康増進に寄与されることを願う。

### (事務局)

特に高齢者に関わる福祉分野の関係各課との連携は、他分野の中でも一番スポーツに近い分野だと思っている。特に、地域体育振興会においては、食育アライアンスという組織と連携を模索しているが、コロナ関連で事業が難しい。新年度以降になれば改めて、そういう動きもしていくことを考えている。体育振興会連合会やスポーツ協会も含めて、市のスポーツ全体で、健康分野、観光分野等々に仲立ちをする形でつなげていけたらと思っている。

### (会長)

前回政策から引き継いでいるところは、つながってひろげていくという部分だと思う。政策の連携、部局間の連携、事業間の連携、連携の一貫性を成し遂げたかったというのが、前回政策からも打ち出しているところである。前回政策の意を受け継いで踏まえての“つなげる”、“ひろがる”だと思うので、そのあたりはぜひとも受け止めて、今後は進めていきたいと思う。

### (委員)

先ほど食育アライアンスの話が出たが、1月9日、アルプラザ宇治東で、食育アライアンスの「うーちゃフェスタ」を開催した。宇治市内で77団体が参加していて、大学病院や地域の鍼灸院、リフレクソロジーなど、健康づくりをきっかけに皆さんが集まって、本当に素晴らしいイベントを開催することができた。市民も予想以上に、たくさん参加してくれた。その時に、ステージで健康体操とか、保育園児から大人まで、みんなで一緒に体操を実施した。今回の計画案にも、スポーツを楽しむという部分がたくさん書かれているが、誰もが思わず参加して楽しめるということは、こういうことだと感じた。食育アライアンスは横軸のハードルが低くみんな参加できるということが実証できたことがすごく素晴らしいことだと思う。

先ほど、健康福祉分野の担当課との連携をより深めていくという話だったが、今回の計画案にもあるように、誰にとってもハードルをもっと低くするような形で取り組めば、目標値も達成できるのではないかと思う。

### (会長)

事業連携で一体となって何か取り組んでいくということを、色々な部局間がつながりながら、

## 第5回宇治市スポーツ推進審議会 議事要旨

健康長寿に向かっているという姿を見せることも大きな意味があると思う。政策を考える時に、事業連携できるよう、色々な部局間の横串を刺すということが大きな目的でもあったので、今後推進できれば、この政策にも意味があると思う。

(事務局)

担当部署とやりとりをしている中で、特に地域体育振興会では、健康の方がハードルも低く、関わりを持ってもらいやすいということは我々も思っている。食育アライアンスに具体的にどう関わりや取り組みができるかについては、また担当課と相談させていただきたいと思う。

(会長)

産業地域振興部にある文化スポーツ課でしか実現できないようなスポーツ政策を作りたいという思いがある

(委員)

もう少し、何か宇治市の特徴的な内容を入れられればもっと良かったと思う。17ページの計画の推進で、スポーツを“たのしむ”、“つなげる”、“ひろがる”として、色々と目標値等が設定されているが、どんなことを実施すればこれが達成できるのか、なかなか見えにくいので、それを進捗管理するスポーツ推進審議会は、その役割が非常に重要になってくると思う。また、4年毎に見直しをかけていくということなので、早速のこの4年間で、目標値にどれだけ近づけるのか、次年度以降、直ちに取り組んでいかなければならないので、宇治市担当課には引き続きご尽力いただきたいと思うし、また4年後に目標値を上方修正できるように進められたら一番良いと思う。

産業界がどのような形で接点を持つかということも課題としてあるが、企業経営には従業員の健康が一番大事なので、そこにいかに投資いただけるか、今後も上手くPRしていかなければならないので、この審議会でもそのような切り口で協議いただけたらと思う。

(会長)

目標値そのものが従来のスポーツ計画に書かれるような内容が多く、何か新しい視点みたいなものが、政策の評価部分に上手く乗っていないと感じている。一旦はこれで進めたいと思うが、民間企業が乗ってきたくなるような政策や評価、民間企業が見てなるほどと思うようなものを入れていかないといけないと思う。従業員の健康管理という部分だけではなくて、産業育成など、産業地域振興部で作った政策をもっと出していきたいと思うので、引き続きお願いできればと思う。

(委員)

地域連携という形で認知度やスポーツの価値のさらなる向上を目指すということで、SDGsは地球規模の大きな課題だが、そこに対して、スポーツは大きく寄与すると思う。SDGsの認知を上げるよりも、SDGsの達成に向けて欠かすことのできないものがスポーツだというような感覚があっても良いと思う。

Jリーグでは、社会連携活動を中心にしている、行政とクラブでは過去からホームタウン活動

## 第5回宇治市スポーツ推進審議会 議事要旨

があったが、そこに企業が入って、企業と行政とクラブという形で、三者が一つになって進めていくということも実施している。企業が行政のスポーツ振興に対して関わり始めるような空気が、これからはできてくるのではないかと感じている。この計画とは少し離れた話になるが、そういった概念をこれからは持つておかないと、行政がお金を出しながら実施していくという時代は、だんだん変わっていくのではないかと思う。そういったところが感じられるようなことが、これから始まるのではないかという内容が入ると良いと思う。

(会長)

良い意見だと思う。特にSDGsの17の目標があると、何かそれに少し寄せるような目標値の設定などできなかつたかと思う。SDGsの視点を持って目標値を設定するとか、方向性を明確にするのも一つだと思う。

“つながる”、“ひろがる”の部分で、行政の立ち位置は、何か課題があつたところに、行政が協働で進めていくという姿があつても良かったのではないかと思う。

(事務局)

宇治市でも、色々な企業からアプローチがあつて、包括的な連携協定を結びたいという話があると聞いている。これを良い機会として、なるべく手を広げて、つながって、それを具体化する施策につなげていかなければならない。動きを待つだけではなくて、色々な取り組みをしている企業に、こちらからアプローチする気持ちでいかなければならないと思う。

(委員)

スポーツも生活に溶け込んで、体を動かすことが健康であり、そういったもののきっかけとすることを、スポーツ団体や行政が手伝い、企業もそこに入ってくる。色々な企業がSDGsや地域連携、地域貢献の部分で関わってきている。市民からの意見には、もっと行政がお金を出すべきだとか書かれていたが、そこに流されると、お金を使わないと何もできないということになるので、地域の、同意する企業を探していく、これから掘り起こしていくのも大事ではないかと思う。

(会長)

行政も企業も、何か資源を投入するだけではなくて、参画をして何かを生み出して、あまり“Win-Win”的な表現を使用すると行政施策っぽくないのかもしれないが、みんながハッピーになるような、そんな関わりができるための方向性を示すものになると良いと思う。ベースになる部分は、未来を担う子どもたちのために、どんな社会を我々が描けるのか、スポーツのみならず、宇治市の未来を考えなければならないと思う。

(委員)

スポーツ少年団は年々団員数が減っている状態だが、それをこの目標値にするのは、このままの状態ではすごく大変だと思う。やはり、食育アライアンスみたいな形で、スポーツ団体、地域体育振興会、スポーツ少年団だけでなく、宇治市のスポーツ協会とつながることで可能なのか

## 第5回宇治市スポーツ推進審議会 議事要旨

などと思う。食育アライアンスのような横軸のつながりを、スポーツ協会や地域体育振興会と、産業とか観光と合わせて合致してできれば目標値も上回ることができるのかなと思った。

(会長)

我々が目指すべき政策は、スポーツがまちに関わることに、どんな角度からでもアプローチできる、そういう政策がプラットフォームになれば良いと思うし、そういう事業を市民のためのプラットフォームにすれば良いと思う。

(委員)

スポーツと言うとハードルが高く感じるが、例えばゴミ拾いをみんなですれば、すごく歩数を増やすことができる。日常生活の中で、どうすればより身体活動を増やせるかという視点で考えると、みんなでできることはいっぱいあると思う。例えば、ゴミ拾いで今より何歩多く歩きましょうと言えば、参加したい人はいっぱいいると思う。そういった明日からでも誰でもできるような具体的な取り組み事例を出すと、みんなワクワク感が高まるのではないかなと思う。

また、市民の意見でもあったが、場所について、体育館までわざわざ行かなくても、地域のコミュニティセンターをスポーツサテライトスポットみたいな形にして、そこで今日は健康体操をしましょうとか、昔のラジオ体操みたいに1日1回どこかで常に開催していると、人との交流も深まる。高齢者も含めて、誰もがやってみたくなるような場所づくり、アイデアづくりの具体策があると良いと思う。

(会長)

普段使っている言葉や普段していることに紐付けられているところがあるので、何かと何かをくっつけるという発想があると良いと思う。それは、冒頭にスポーツのイメージの固定観念を払拭したいと書いてある通りだと思う。

公共施設のあり方に対して、違う意味を付与することによって、今までのイメージが払拭されるとするならば、今まで持っているイメージのイノベーション、意味のイノベーションを図っていくことが、既存との関わりを刷新してくれるのではないかなと思う。ゴミ拾いと言うと、環境に興味がある人しか参加しないかもしれないが、違うアプローチの仕方健康増進につながる。日常の行為に意味のイノベーションを図ることによって、新たな価値を生んでいくことがもっとできるのではないかなと思う。

(委員)

パブリックコメントの意見の中で、無料にしてほしいという意見があったが、今の時代はそうではないだろうと思う。安全や安心が関わる中で、企業と提携してより良いものを提供していこうと思えば、やはり対価、お金がかかっても当たり前だと思う。運動することに対して、どこでも運動できるという声もあるので、スポーツサテライトスポットというのはすごく良いと思う。スポーツに関しては、そういうところで広がっていくものにプラスして、企業と協働して、有償でも、きちんと正しいスポーツを広げて健康につなげていくということ、宇治市ではこの計画で掲げているので、すごく上手にまとめられている。

## 第5回宇治市スポーツ推進審議会 議事要旨

(会長)

価値を生む、その享受者である人たちが、お金も時間もエネルギーも消費をするというのは、普通の時代だと思う。価値を生み出す一人の行為者であるという、そんな発想を持ってもらえることができればと思う。

(委員)

子どもから大人までが参加できるような土壌を作るということも、各種団体で考え、実践することも必要だと思う。大きな大会だけがすべてではなくて、まちを散策してもスポーツにつながるというような、そういう土壌をこれからは作っていかないといけないと思う。

(会長)

自身の発展につながることや促進することに、この計画や事業がつながっていけば良いのではないかと思う。

いただいた意見が計画に上手く反映できるかどうかは分からないが、計画そのものの大きな方向性は変えないとしても、評価の部分だとか施策の部分では、拡大解釈をしながら、あるべき姿に向かっていくような形がとれれば良いと思う。

### 4. その他

- 今後の進捗管理について

### 5. 会長職務代理あいさつ

### 6. 事務局あいさつ